



## 2023年度（CCF 第5年度）事業報告

### （要約）

ビジョン1 視点1「次代を担う若者の社会への参加」については、計画に従って事業を実施することができた。

2023年度は休眠預金等活用事業通常枠の資金分配団体に採択されたのに加え、2023年度緊急枠においても資金分配団体に採択された。この結果、事業も大きくなり、2024年度事業の予算規模も大きくなった（約1億5千万円）。

更に、特筆すべきは、子どもの多様な学びの場を保障する奨学金事業の為の基金設立に向けて、西日本新聞社との協働でクラウドファンディングを行い、設定目標300万円を大幅に上回る資金が集まった。西日本新聞記事を見た福岡県大野城市がFS等に通う子どもたちへの支援を開始することにつながり、基金（愛称 たまきちゃん）の設立が直接行政に影響を与えることになった。

ビジョン1 視点2「自然災害への対応」については、7月10日の筑後地域豪雨災害への対応の中で弊財団の災害対応力の強化がなされた。

災害支援基金への寄付金が140万円以上となり、7つの災害支援活動団体に対し助成を行うことができた。弊財団職員が現場に行き十分な調査を行ったことにより、アマゾン活用等により現場に必要な物資を送る仕組みを築くことができ、現場に行って得られた情報は助成審査において役立つことになった。

ビジョン2「CCF自身が主体的に公益を担う力を持つ」については、P03人体制が整い、パートタイムP0及びP0補佐を2名ずつ置く体制が生まれた。弊財団の組織力が強化されたとと言える。

他方、財団公益化の遅れ、財政基盤の強化、バックオフィス人員強化、P0育成・研修システムの構築等の課題は残っている。事業部長を中心に次期中期事業計画を作成し、資金力及び組織力の強化に積極的に取り組んでいくことにした。

### ◎ビジョンと視点

#### 1) ビジョン1 「現代社会に山積みになっている社会課題解決に参画」

\* ちくご川関係地域にとっての社会的課題：「地域の持続可能化」

##### 視点1「次代を担う若者の社会への参加」

○ 孤立解消に向けての手法

- ・ 困難を抱える子ども若者の孤立解消と育成に取り組む団体・個人を支援
- ・ 困難を抱える人たちが地域社会に居場所を持つことができる社会環境の創造

##### 視点2「自然災害への対応」

○ ちくご川関係地域の自然災害被災者支援のための方策

#### 2) ビジョン2「CCF自身が主体的に公益を担う力を持つ」

a) 組織基盤の確立

b) 財団内人材の育成と協力ネットワークの構築

### （本文）

#### 1. 子ども若者支援事業

##### ① 子ども若者応援助成事業

- ・ 第3回子ども若者応援助成を実施。



14 申請団体から 6 団体を採択し、計 176 万円を助成。  
前年度のクラファンで 217 万 8 千円の寄付があり、これを活用。

## ② 休眠預金等活用事業

### ・ 2020 年度通常枠事業 (20.11~24.4) <助成総額約 3500 万円/2 団体>

－わたしと僕の夢 (久留米) : 貧困家庭の子ども若者の孤立解消と育成

－みんなの家みんな (朝倉) : 養護施設退所者の居場所・故郷づくりと過疎地支援

⇒ 最終年度であり、中長期アウトカムに向けての準備を事後評価に取り組みつつ行った。

⇒ わたしと僕の夢は、CCF の伴走支援を受けつつ、認定 NPO 法人となり、寄付受取額が 4 倍以上になるなど組織基盤が強化された。中学生の高校受験率が向上し高校合格者数が増加するとともに、居場所として多数の高校生が集まるようになった。更に、当初、久留米市及び鳥栖市のみの活動であったものが、みやき町及び南小国町に活動範囲が広がった。JAL や SMBC 等からのプロボノ協力も提供された。JAL は子どもたちの航空機や空に係る職業への関心を芽生えさせ、SMBC は、ガバナンス強化に貢献した。

⇒ みんなの家みんなは、恒常的に養護施設出身者を受け入れている訳ではないが、自宅を改造した仮みんなは機能し、本みんなと呼ぶ別棟の建設も予定よりは遅れているが進んでいる。この 3 年間で福岡県内外の養護施設や養護施設出身者支援組織・団体との良い関係が構築され、養護施設出身者他悩み多き若者を受入れる準備ができた。また、持続可能化の為の農林関係産業創出事業も少しずつではあるが進んでいる。CCF として今後とも相談ベースで協力していく。

### ・ 2021 年度通常枠事業 (22.3~25.3) <助成総額約 4200 万円/3 団体>

\* テーマ : 誰一人取り残さない居場所づくり～学びの場における孤立解消と育成

－家庭教育研究機構 (飯塚) : 校内フリースクール創設

－未来学舎 (久留米) : 居場所、学び、就職の総合的学びの場の創造

－箱崎自由学舎 ESPERANZA (福岡) :

⇒ どの実行団体も計画に従いつつも、計画以上の成果を挙げている。中間評価に取り組みつつ、中長期アウトカムに繋がる活動をロジック・モデルの中に組み入れようとしている。

⇒ 家庭教育研究機構が筑穂中学校 (飯塚市) との間で創設した校内フリースクールにより、不登校生徒が減少するとともに、一般教室、校内フリースクール、フリースクールそれぞれが教員・生徒・保護者より居場所として認識されるようになった。また、この成果は、飯塚市内の他の中学校、筑豊地区の他の市町からも注目され、嘉麻市や桂川町からは、同様の校内フリースクールをほしい旨の要望が出され、協議が始まっている。更に、校内フリースクールを経験した教員達による紀要報告書が発表され、教員の意識と取り組みが変わってきたことが明らかになった。

⇒ 未来学舎は、北野、宮ノ陣、六ツ門の 3 か所で、それぞれ特色ある活動 (地域との協力による外の活動を主とするフリースクール、カフェで働きつつ社会に出る準備を行う、学び中心のフリースクールと通信制高校) を行うことで、様々なタイプと年代の子どもたちに居場所を与え、成長を促している。理事長と職員の間には溝が生まれることもあるが、理事会の強化によりそれを克服しようとしている。

⇒ 箱崎自由学舎 ESPERANZA は、学校以外の選択肢 (フリースクール、オールタナティブスクール、ホームエデュケーション等) を選んだ場合の家庭の負担・学校との関係他の課題について研究する民間研究部会を設立し、協議を進めている。福岡県下の地方自治体への提案書を作成するとともにこれら自治体への働きかけを行うべく、準備を進めている。

⇒ これに合わせるように、環境整備の一環として、CCF は、西日本新聞社と協力し、子どもの多様な学びを保障する奨学金事業を開始した。クラウドファンディングと西日本新聞における関係記事の連載で資金を集め、基金を創設し、奨学生募集を行った。この動きに影響を受け、大野城市が学校以外の選択肢の為の家庭支援を開始した。CCF の活動が社会に直接的に影響を与えていることが明確になる事業となった。



## ・2023年度通常枠事業（23.10～26.3）＜助成総額約1億円／6団体＞

### \*「困難を抱える家庭を取り残さない仕組みづくり～子ども若者とその家庭の為にコレクティブインパクト」事業

- ⇒ 8月、資金分配団体に採択。10月16日に事業開始。
- ⇒ 鬼丸武士氏を新たなPOとして雇用した。
- ⇒ 困難を抱える家庭に対して3つの活動乃至どれか1つの活動を行う複数の団体でチームを組み、コレクティブインパクトを起こしてこれら家庭を支援する。3活動とは、アクセス活動、アセスメント活動、アプローチ活動。実行団体をA,B,C（A：3事業＋コーディネート、B：3事業、C：アプローチ活動）の3タイプで公募し、厳正な外部審査により、A：一般社団法人umau.、B：お母さん大学福岡（ちっこ）支局、特定非営利活動法人にじいろCAP、一般社団法人産前産後サポーター協会、C：特定非営利活動法人久留米市手をつなぐ育成会、いろいろの6団体を採択した。
- ⇒ 3月末までに5団体と資金提供契約を締結。残り1団体も4月には締結し、2024年4月から3年間の事業を行う。

## ・2023年度緊急枠事業（23.3～24.2）＜助成総額6000万円＝8団体＞

### \*「子育てに困難を抱える家庭へのアクセシビリティ改善事業～多様なつながりが生まれる仕組みづくり」事業

- ⇒ 1年事業。23年度通常枠事業を補完。

## ・災害関連休眠預金等活用事業

休眠預金等活用事業随時枠申請を YNF とのコンソーシアムで行ったが、不採択。他方、佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）が災害支援で休眠預金等活用事業資金分配団体に採択され、SPF より実行団体に応募するよう呼びかけあり。PO に予定していた人物ができなくなったため、2023年夏に行った事業を核に現状人員で対応できる案で申請。支援団体の助成は自己資金であっても事業に組み入れられない JANPIA ルールがあり、申請が受け付けられなかった。久留米市安武町の社会福祉法人拓くが資金分配団体エティックの実行団体になった。同団体から協力の呼びかけあり。

CIVIC FORCE（CF）の Good Links（企業からの支援物資マッチング事業）のメンバーとなった。CF は、SPF 事業の実行団体になっており、引き続き CF との協力関係を継続している。

## ③ その他事業

- ・民間公益活動推進の為、ファンドレイジング・遺贈・広報の技術・知識の普及活動を水曜勉強会等を通じて実施。
- ・個別団体のクラウドファンディングの伴走支援を開始。

## 2. 自然災害への対応

### ① 災害支援基金活用と広報強化による豪雨災害への対応と被災者支援団体の支援

- ・7月10日の豪雨で筑後地域の広範囲で土砂災害・浸水被害が発生。第4年度にHPが新装されたこと及び災害支援基金が存在していたことを基礎に、即日災害支援基金への寄付募集を始めるとともに、YNFを始めとする、災害支援団体の後方支援を行った。その際、現場に足を運び、ボランティアを行いつつ現場の視察・調査を行った。
- ・なお、弊財団の自然災害支援拠点化の一環として設置したCCF事務所隣接の災害支援装備品倉庫が後方支援に機能を発揮した。
- ・8月12日の田主丸で行われたつながる広場開催を共催支援。
- ・山路健造氏がプロボノで活動へ参加。10月より弊財団の第4のPOとして勤務。
- ・8月より、久留米災害支援連携会議（仮）の事務局を弊財団が務めた。この実績をベースに筑後川関係地域の関係団体のネットワークづくりを行うと協力する予定。



## ② 他の災害支援団体との連携

- ・特定非営利活動法人 YNF との協働を推進。拠点の提供と倉庫の活用。協定締結。
- ・(公社) CIVIC FORCE との協働を開始。(社) 北部九州河川利用協会との協働関係構築・強化は、未実施。
- ・7月10日豪雨災害支援を通じ、みんくる、F ネット、ハッシュその他の団体との連携開始。

## 3. 組織基盤の確立

### ① ファンドレイジングの強化

- ・企業・団体・個人への働きかけ：企業回りはできず。
- ニュースレター送付継続
- 整備された支援者リストの活用
- HP 上で災害基金等の支援アピール
- ・各種助成金の活用：CF のデロイトトーマツ助成申請に協働団体として参加。ただし、同申請は不採択となった。
- ・収益事業：
  - －水曜勉強会を有料講座に移行。
  - －コンサル業務・講師派遣：朝倉市、大牟田市・・・ただし個人に対しての依頼
  - －上記個別団体に対するクラウドファンディング伴走事業開始

### ② NPO 等支援ふるさと納税制度の採用を久留米市に働きかける。

- ・久留米市協働推進課との GCF に関する意見交換が進んだ。

### ③ 人事体制の充実

- ・23 年度休眠預金等活用事業（通常枠）申請採択を前提に PO を 3 名にとという計画が達成された。また、2 名のパートタイム PO 及び 2 名の PO 補佐を採用。

### ④ 公的な認証の取得

- ・第 4 年度の非営利組織評価センターの評価認証「グッドガバナンス認証」取得を基盤に、CCF の公益財団法人化の為、内閣府に相談、申請の準備を行った。内閣府との相談の結果、令和 6 年度に申請を行うことになった。

## 4. 財団内人材の育成と協力ネットワークの構築

### ① 財団内人材育成

- 1) 常勤プログラムオフィサー (PO) 3 人体制ができた。課題は給与の充実。
- 2) 久留米大学中村寛樹教授（基盤教育センター）とは月次協議を始め、進展。
- 3) パートタイム PO として石川氏及び山路氏を雇用。また PO 補佐として小林氏及び北里氏を雇用。

### ② 協力ネットワークの構築

- ・助成先団体との関係強化。水曜勉強会や遺贈ワークショップなどへの参加を促し、関係を維持発展させている。ネットワークが少しずつ築かれ始めている。伴走支援も実施。
- ・7月10日豪雨災害支援を通じて、災害支援ネットワーク構築のきっかけができた。

## ◎ 事業等の実施経過

事業等名	23. 4～23. 7	23. 8～23. 11	23. 12～24. 3
子ども若者応援助成	公募・審査採択・助成	伴走支援	公募準備・報告書受領
休眠預金等活用事業			
・20 年度通常枠	伴走支援	事後評価準備	事後評価 WS



・21年度通常枠	伴走支援 中間評価準備・中間評価WS
・23年度通常枠	申請・採択・契約・公募開始 実行団体採択・事前評価WS
・23年度随時枠	申請・不採択 23年度SPF通常枠実行団体へ
多様なまなび基金	FS等の生徒への奨学金制度設立 支援開始
自然災害支援	CFとの連携（グッドリンクス紹介）、連携会議を通じた支援
・円卓会議	P0による沖縄研修 24年度団体の活動の中で検討中
・社会課題講座	講座の設立 講座の実施 講座の実施
ファンドレイジング	柳田P0を中心に企画実施・全員が理解して進む
NPO等支援ふるさと納税久留米市導入	CSOの結束づくり 市・市議会への働きかけ
人的体制	常勤P03人体制へ パートタイムP0及びP0補佐の雇用
公益財団法人化	内閣府への相談と申請書づくり 令和6年度に申請へ
ネットワークづくり	助成先・一般CSOからの相談対応 → → → → → →

(了)

令和5年度 正味財産増減表  
自2023年4月1日 至2024年3月31日

一般財団法人ちくご川コミュニティ財団

単位：円

2024.4.1

科 目	4年度実績	5年度実績	差 異
<b>1. 一般正味財産の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
基本財産運用益	28	28	0
基本財産受取利息	28	28	0
特定資産運用益	78	76	-2
特定資産受取利息	78	76	-2
事業収益	0	0	0
受託事業	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0
受取補助金等振替額	(a) 27,666,305	44,915,451	17,249,146
国庫補助金	0	0	0
民間助成金	27,666,305	44,915,451	17,249,146
寄付金振替額	(b) 2,796,888	8,225,094	5,428,206
財団応援寄付	994,209	1,021,572	27,363
子ども若者応援助成	1,802,683	5,506,679	3,703,996
災害支援		1,186,843	1,186,843
たまきちゃん		510,000	510,000
雑収入	40,010	318,809	278,799
受取利息	10	9	-1
雑収入	40,000	318,800	278,800
雑損失	627	0	-627
支払利息	627	0	-627
営業外損失	39,383	318,809	279,426
経常収益 計	(c) 30,502,682	53,459,458	22,956,776
<b>(2) 経常費用</b>			
事業費	29,466,000	51,377,670	21,911,670
役員報酬	1,362,880	1,944,000	581,120
給料手当	6,395,871	14,418,481	8,022,610
法定福利費	0	767,491	767,491
委託費	0	494,500	494,500
旅費交通費	206,186	611,732	405,546
通信費	37,716	193,360	155,644
助成金	18,628,790	30,081,458	11,452,668
会議費	101,120	77,410	-23,710
地代家賃	320,000	505,000	185,000
水道光熱費	88,160	126,498	38,338
消耗品費	29,916	1,754	-28,162
租税公課	0	11	11
研修費	257,930	125,240	-132,690
事務用品費	94,551	106,977	12,426
事務用備品費	0	133,531	133,531
広告宣伝費	331,421	1,120,222	788,801
支払手数料	990,770	498,499	-492,271
振込手数料	12,669	32,266	19,597
諸会費	52,000	108,000	56,000
新聞図書費	5,060	31,240	26,180
修繕費	550,960	0	-550,960
雑費	0	0	0
管理費	2,355,661	4,157,774	1,802,113
役員報酬	97,119	336,000	238,881
給料手当	367,714	1,122,967	755,253
福利厚生費	7,560	6,720	-840
法定福利費	731,821	1,029,329	297,508
委託費	0	19,126	19,126
旅費交通費	251,444	645,334	393,890
通信費	160,694	211,469	50,775
交際費	0	6,667	6,667
会議費	156	41,126	40,970
地代家賃	90,000	95,000	5,000
水道光熱費	24,840	25,797	957
消耗品費	19,447	7,918	-11,529
租税公課	12,665	58,874	46,209
事務用品費	2,098	28,165	26,067
事務用備品費	0	3,008	3,008
広告宣伝費	153,247	81,584	-71,663
支払手数料	223,611	205,152	-18,459
振込手数料	56,250	57,786	1,536
諸会費	24,166	41,000	16,834
警備料	63,360	126,720	63,360
修繕費	54,940	0	-54,940
雑費	14,529	8,032	-6,497
経常費用計	(d) 31,821,661	55,535,444	23,713,783
当期一般正味財産増減額	(e) = (c) - (d) -1,318,979	-2,075,986	-757,007
一般正味財産期首残高	(e) 15,578,632	4,783,736	-10,794,896
一般正味財産期末残高	(f) = (e) + (d) 4,783,736	2,707,750	-2,075,986
<b>2. 指定正味財産の部</b>			
受取補助金等	0	177,147,990	177,147,990
国庫補助金	0	0	0
民間助成金		177,147,990	177,147,990
受取寄付金	2,796,888	6,392,335	3,595,447
一回寄付	441,888	1,794,572	1,352,684
継続寄付	177,000	225,000	48,000
クラウドファンディング	2,178,000	3,330,000	1,152,000
遺贈寄付	0	1,000,000	1,000,000
街頭募金	0	42,763	42,763
指定正味財産期首残高(休眠預金)	36,960,420	9,294,115	-27,666,305
受取補助金等	0	177,147,990	177,147,990
指定正味財産期末残高	(g) 9,294,115	141,526,654	132,232,539
当期指定正味財産増減額	(h) 27,666,305	44,915,451	17,249,146
指定正味財産期首残高(子ども若者)	9,100,600	9,475,917	375,317
受取寄付金等	2,178,000	70,000	-2,108,000
指定正味財産期末残高	(i) 9,475,917	4,039,238	-5,436,679
当期指定正味財産増減額	(j) 1,802,683	5,506,679	3,703,996
指定正味財産期首残高(災害支援)	0	0	0
受取寄付金等	0	1,459,763	1,459,763
指定正味財産期末残高	(k) 0	272,920	272,920
当期指定正味財産増減額	(l) 0	1,186,843	1,186,843
指定正味財産期首残高(たまきちゃん)	0	0	0
受取寄付金等	0	3,841,000	3,841,000
指定正味財産期末残高	(m) 0	3,331,000	3,331,000
当期指定正味財産増減額	(n) 0	510,000	510,000
3. 正味財産期末残高	(f) (g) (i) (k) (m) 23,553,768	151,877,562	128,323,794

# 令和5年度 貸借対照表

令和6年3月31日現在

一般財団法人ちくご川コミュニティ財団

(単位：円)

2024.4.1.

科 目		当年度期首	当年度期末	増 減
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金		0	0	0
小口現金		0	0	0
当座預金		619,682	167,777	-451,905
普通預金		1,874,592	2,099,615	225,023
前渡金	(g)	660,000	0	-660,000
前払費用	(g)	74,054	103,711	29,657
貯蔵品	(g)	0	5,166	5,166
流動資産合計		3,228,328	2,376,269	-852,059
2. 固定資産				0
(1)基本財産				0
普通預金		3,001,088	3,001,112	24
基本財産合計	(a)	3,001,088	3,001,112	24
(2)特定資産				0
寄付受入預金(子ども若者・災害支援・たまきちゃん)	(b)	9,475,917	7,643,158	-1,832,759
休眠預金等活用事業助成金	(c)	9,294,115	141,526,654	132,232,539
特定資産合計		18,770,032	149,169,812	130,399,780
(3)その他固定資産				0
敷金		0	0	0
その他固定資産合計		0	0	0
固定資産合計		21,771,120	152,170,924	130,399,804
資産合計	(d)	24,999,448	154,547,193	129,547,745
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払費用		1,292,627	2,081,151	788,524
未払金			100	100
短期借入金		0	0	0
預り金		148,053	583,380	435,327
前受金		5,000	5,000	0
流動負債合計		1,445,680	2,669,631	1,223,951
2. 固定負債			0	0
固定負債合計		0	0	0
負債合計	(e)	1,445,680	2,669,631	1,223,951
III 正味財産の部				0
1. 指定正味財産		9,294,115	183,540,349	174,246,234
基本財産運用益		0	24	24
受取助成金		9,294,115	177,147,990	167,853,875
受取寄付金			6,392,335	6,392,335
(内、基本財産への充当額)	(0)		(24)	24
(内、特定財産への充当額)	(9,294,115)		(149,169,812)	139,875,697
2. 一般正味財産				0
一般正味財産合計	(f)=d-b-c-e	4,783,736	2,707,750	-2,075,986
(内、基本財産への充当額)	(0)		(0)	0
(内、特定財産への充当額)	(0)		(0)	0
正味財産合計	(b)+(c)+(f)	23,553,768	151,877,562	128,323,794
負債及び正味財産合計 (CFベース)	(c)+(f)-(g)+(e)	24,265,394	154,438,316	130,172,922

令和5年度 貸借対照表  
令和6年3月31日現在

一般財団法人ちくご川コミュニティ財団

(単位：円)

2024.4.1.

科 目		当年度期首	当年度期末	増 減
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金		0	0	0
小口現金		0	0	0
当座預金		619,682	167,777	-451,905
普通預金		1,874,592	2,099,615	225,023
前渡金	(g)	660,000	0	-660,000
前払費用	(g)	74,054	103,711	29,657
貯蔵品	(g)	0	5,166	5,166
流動資産合計		3,228,328	2,376,269	-852,059
2. 固定資産				0
(1)基本財産				0
普通預金		3,001,088	3,001,112	24
基本財産合計	(a)	3,001,088	3,001,112	24
(2)特定資産				0
寄付受入預金(子ども若者・災害支援・子どもの多様な学び)	(b)	9,475,917	7,643,158	-1,832,759
休眠預金等活用事業助成金	(c)	9,294,115	141,526,654	132,232,539
特定資産合計		18,770,032	149,169,812	130,399,780
(3)その他固定資産				0
敷金		0	0	0
その他固定資産合計		0	0	0
固定資産合計		21,771,120	152,170,924	130,399,804
資産合計	(d)	24,999,448	154,547,193	129,547,745
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払費用		1,292,627	2,081,151	788,524
未払金			100	100
短期借入金		0	0	0
預り金		148,053	583,380	435,327
前受金		5,000	5,000	0
流動負債合計		1,445,680	2,669,631	1,223,951
2. 固定負債			0	
			0	0
固定負債合計		0	0	0
負債合計	(e)	1,445,680	2,669,631	1,223,951
III 正味財産の部				0
1. 指定正味財産		9,294,115	149,169,812	139,875,697
基本財産運用益		0	0	0
受取助成金		9,294,115	141,526,654	132,232,539
受取寄付金			7,643,158	7,643,158
(内、基本財産への充当額)	(0)		(24)	24
(内、特定財産への充当額)	(9,294,115)		(149,169,812)	139,875,697
2. 一般正味財産				0
一般正味財産合計	(f)=d-b-c-e	14,259,653	2,707,750	-11,551,903
(内、基本財産への充当額)	(0)		(0)	0
(内、特定財産への充当額)	(0)		(0)	0
正味財産合計	(b)+(c)+(f)	23,553,768	151,877,562	128,323,794
負債及び正味財産合計 (CFベース)	(c)+(f)-(g)+(e)	24,265,394	154,438,316	130,172,922

# 財産目録

(2024年3月31日現在)

一般財団法人ちくご川コミュニティ財団

単位：円

貸借対照表科目				金額
<b>流動資産</b>				
現金預金	現金	現金による寄付		0
	小口現金			0
	当座預金	ゆうちょ銀行一七九支店 (0172112)		167,777
	普通預金	三菱UFJ銀行久留米支店 (0232415)		13,000
		福岡銀行久留米営業部 (3017002)		47,000
		筑邦銀行日吉町支店 (3091966)		1,985,337
		ゆうちょ銀行七四八支店 (8822715)		15,777
		ゆうちょ銀行七四八支店 (9433751)		38,501
		《普通預金計》		2,099,615
		《現金預金計》		2,267,392
前払費用	地代家賃・概算保険料		103,711	
貯蔵品	未使用切手・印紙		5,166	
<b>流動資産合計</b>				<b>2,376,269</b>
<b>固定資産</b>				
基本財産	普通預金	西日本シティ銀行東久留米支店 (3089334)		3,001,112
特定財産	普通預金	筑邦銀行日吉町支店 (3117536)	寄付受入預金(災害支援基金)	272,920
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店 (3094730)	寄付受入預金(子ども若者基金)	4,039,238
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店 (3119657)	寄付受入預金(たまきちゃん基金)	3,331,000
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店 (3099528)	休眠預金活用事業(2020年通常枠)	6,876,894
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店 (3107834)	休眠預金活用事業(2021年通常枠)	4,300,110
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店 (3118182)	休眠預金活用事業(2023年通常枠)	54,240,450
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店 (3120756)	休眠預金活用事業(2023年随時枠)	76,109,200
<b>固定資産合計</b>				<b>152,170,924</b>
<b>資産合計</b>				<b>154,547,193</b>
<b>流動負債</b>				
流動負債	未払費用	3月分給与・電話料・法定福利費		2,081,151
	未払金	会議費、清算不足分		100
	前受金	4月分賃借料		5,000
	預り金	源泉徴収・特非) YNF他		583,380
<b>流動負債合計</b>				<b>2,669,631</b>
<b>固定負債</b>				<b>0</b>
<b>固定負債合計</b>				<b>0</b>
<b>負債合計</b>				<b>2,669,631</b>
<b>正味財産</b>				<b>151,877,562</b>

# 財務諸表に対する注記

2024.4.1.

(1/2)

## 1. 重要な会計方針

(1) 「公益法人会計基準」を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

## 2. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	3,001,088	24	0	3,001,112
特定資産				
休眠預金受入預金	9,294,115	177,147,990	44,915,451	141,526,654
子ども若者基金	9,475,917	70,000	5,506,679	4,039,238
災害支援基金	0	1,459,763	1,186,843	272,920
たまきちゃん	0	3,841,000	510,000	3,331,000
合 計	21,771,120	182,518,777	52,118,973	152,170,924

## 3. 減価償却すべき資産

減価償却すべき資産はありません。

## 4. 担保に供している資産

担保に供している資産はありません。

## 5. 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務はありません。

## 6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

今年度受けている補助金等は次の通りであります。

補助金の名称等	交付者	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
休眠預金助成金	一財)日本民間 公益活動連携 機構	9,294,115	177,147,990	44,915,451	141,526,654

## 7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりであります。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
民間助成金の事業使用による振替額	44,915,451
寄付金振替額 (子ども若者・災害支援・たまきちゃん)	8,225,094

## 8. 重要な後発事象

重要な後発事象はありません。

以上